

虐待死



のまちをめぐりて

つながろう 子どもの笑顔のために

子どもの虐待防止のためには、
市民・地域・関係団体・行政が何ができるか考え、
一丸となって行動していくことが大切です。



託児
(30名)
生後6か月～
小学生まで

参加無料
(お申込は裏面へ)

平成26年

8月5日



エルガーラホール

福岡市中央区天神1-4-2 8F

13:00～16:00 (開場▷12:30)

- 西鉄福岡(天神)駅より……………徒歩 約3分
- 地下鉄空港線天神駅より……………徒歩 約5分
- 地下鉄七隈線天神南駅より……………徒歩 約1分
- 西鉄バスセンターより……………徒歩 約5分

テーマ「SOSを出せる地域 ～SOSを受け止める私たちへ～」

2010年に起きた大阪二児置き去り死事件。基調講演では、事件が起きた社会的背景や取材を通して見えてきた『SOSをだせなかった母親の姿』についてお話しいたします。パネルディスカッションでは、福岡での活動を紹介します。

基調講演 (75分)

杉山 春氏 (フリーランスライター)

講師プロフィール / 1958年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒。雑誌の編集を経て、フリーランスライター業へ。雑誌などにインタビュー記事を執筆するほか、国際関係の変動の中で生きる人たちについて、家族の中の男女のあり方、子どもの育ち、青年の社会的包摂などに関心をもつ。著書に『満洲女塾』(新潮社)『ネグレクト 真奈ちゃんはなぜ死んだか』(小学館文庫 小学館ノンフィクション大賞受賞作)『移民環流』(新潮社)『ルボ虐待 大阪二児置き去り死事件』(ちくま書房)。2013年からNPOの正職員として、主に生活保護家庭に暮らす子ども、若者の支援事業に携わる。現在、引きこもり青年の実際、貧困家庭の母の問題などを取材中。



パネルディスカッション (80分)

パネリスト

- 大戸 はるみ氏 (しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡)
- 坪井 恵子氏 (ストリート・プロジェクト)
- 森山 麻衣子氏 (福岡市教育委員会スクールソーシャルワーカー)
- 城丸 季佐氏 (福岡市立石丸小学校教諭)

コーディネーター

- 松浦 恭子氏 (ふくおかこどもの虐待防止センター)



主催 / 福岡市子ども虐待防止活動推進委員会 後援 / 西日本新聞社

お問い合わせ 福岡市子ども虐待防止活動推進委員会事務局(福岡市こども未来局 こども部 こども家庭課)

TEL 092-711-4238 FAX 092-733-5534